

神戸市役所本庁舎2号館再整備基本計画（案）に関する市民意見と神戸市の考え方

意見 No.	意見本文	神戸市の考え方
1	<p>公共施設を考える上で、まず、定借を利用し庁舎の機能を維持させ、民設を決断されたことは、民とのWin Winの関係が築けることを利用したコスト削減になり、今の施設マネジメントの考え方に沿っていると言えるため、非常に良かったと感じています。</p> <p>ただ、唯一気になるのが、文化交流、発信拠点としての機能が新文化ホールの移転に伴うホールの受け入れ先に落ち着いた感否めないと感じています。そもそも文化センターのあり方の検討で既に庁舎移転ありきの答えが先に出されてしまっているのはいかがかと。こくさいホールが目の前にあるなか、庁舎ホールとのスマイワケもさることながら、どうしてもホールでなければならないのかという疑問が残ります。ファンならば例え多少のアクセスが悪くても会場に駆けつけるし、神戸駅周辺からわざわざ三ノ宮の一等地でなくても良い気がしています。</p> <p>今となっては覆らない段階だと思うので、ホールありきで進めるとして、若者を呼び込むのであればその後の運営方法については、そのまま持ってくればよいと言うものではなく、文化ホールの従来の催し内容から見直さないといけないと感じています。プロモーターの手腕が問われると思います。若者の中でクラシックを望んでいるものがどのくらいいるのか、それがイコール神戸のイメージなのか、行政が考える無難なものでは人はあつまらず、ある意味振り切ったコンテンツが必要です。今後を見守りたいと思います。</p>	<p>採用する事業手法に関しては、出来る限り低い財政負担で高い事業効果が得られるよう、引き続き検討をしていきます。</p> <p>また、本庁舎2号館跡に整備する音楽ホールは、雲井通5・6丁目地区に整備する大ホール・多目的の中ホールとあわせて、現在の文化ホールの利用を継承することを基本としておりますが、「新たな価値を創り出す芸術文化創造拠点」となるために、積極的な事業及び活動を実践していくことも「新・神戸文化ホール整備基本計画（案）」の中で掲げています。運営についても、今後詳細な検討を行っていく中で、頂いたご意見を踏まえ検討していきます。</p>
2	<p>都心再整備の委員会を傍聴した際に、「ハイクラスのホテルにはロータリー（車付け）が必須」という発言をしていた方がいた。もし、本当にそのような前提が無いと外資系ホテルの誘致が難しいのであれば、ホテル側の求める設備を備えた建物となるよう誘致するホテルの声を聞いて設計していただきたい。兵庫県も県庁建て替えにあたり、外資系ホテルの誘致を表明しているが、立地の良さでは2号館跡地が勝っている。この都心の一等地に是非とも外資系ホテル誘致を実現していただきたい。</p> <p>また、資料の中に「眺望を生かした」という記載があるが、市の高さ規制がこの障壁にならないか心配である。そもそも市中心部の高さ規制には反対であるし、今回の新庁舎についても「眺望生かした」高さが確保出来ないようであれば、例外として認定し、高さ規制に縛られない設計をしていただきたい。</p> <p>中途半端な建物は要りません。市の新たなランドマークとなるような新庁舎完成を願っています。</p>	<p>本庁舎2号館の立地は、三宮駅周辺と旧居留地やウォーターフロント等のエリアを行き来するための結節点に位置していることから、ハイクラスホテルの誘致も含めて、この地にふさわしい魅力ある機能を配置できるよう、引き続き取組みを進めていきます。</p> <p>眺望につきましては、周辺建物との調和を意識しながら、神戸らしい都市的な景観と自然景観の両方が楽しめる立地特性を十分に活かし、神戸の新たなランドマークとなるような建物として整備していきたいと考えています。</p>
3	<p>【賛成】</p> <p>阪神大震災から25年の節目でもあり、当時被害にあった2号館が時を経て再整備されると聞いて万感の思いが蘇ってきます。当時の大変な状況を教訓に、今回の2号館の再整備についても震災の経験を活かした「神戸」にふさわしい安心・安全な街づくりを目指して計画に取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>神戸市役所本庁舎2号館再整備については、三宮地区周辺の再整備基本構想を踏まえ、市民の声を聴きながら、必要な施設の配置を検討した素晴らしい計画だと思います。その中で整備の基本方針として、環境配慮の積極的な取り組みや災害時における庁舎機能継続や施設利用者の安全確保等を図るため、防災対策強化を進めるとしています。</p> <p>最近では従来の想定を大きく上回る大規模な自然災害（台風・ゲリラ豪雨等）への対策は喫緊の課題であり、また地球温暖化への対応としての環境に対する配慮は欠かせないものになっております。先般の関東・千葉方面を襲った台風15号や昨年に関西を直撃した台風21号の被害は記憶に新しいところであり、自然災害による停電は近年どの地域でもおこりうる現象であります。</p> <p>そのようなことを踏まえて新庁舎・にぎわい施設・連絡ロビー・エネルギー施設について、省エネルギー、省CO2や緑化の推進、再生可能エネルギーの導入等環境配慮、また災害時における庁舎の機能継続や施設利用者の安全確保等を図るための防災対策強化を進め、更に強靱な防災力を持ち、環境にやさしく持続可能なまちを実現すべく、現在検討されている下記の方針に則ったエネルギーシステムの採用をお願いいたします。</p> <p>○災害時にライフラインが途絶されても必要な機能継続が図られるよう、水や電源の確保につとめる ○BCP対策として、災害時等における行政機能の早期再開、復旧のための機能や通信手段の整備本庁舎1号館、4号館（危機管理センター）との連携体制の構築等を図る。 ○災害対応で非常用発電を72時間以上の稼働が可能な設備及び燃料の確保の検討とともに、コージェネレーションシステム等の導入を検討し、電源の多重化を図る。 ○新庁舎・にぎわい施設と連絡ロビー・エネルギー施設を配管で接続し、熱エネルギーを建物間で融通することで空調機器の運転効率を高め、省エネ・省CO2やコスト削減の効果が期待できる面的利用の導入 ○エネルギー消費データの収集・分析を行い、効率の良い管理・運営を行うことで、室内環境とエネルギー使用量の最適化を図る （神戸市役所本庁舎2号館再整備基本計画（案）P20～P22抜粋）</p>	<p>近年の地震や豪雨、台風等の大規模な自然災害への対策は重要であり、災害時における庁舎の機能継続や施設利用者の安全確保等のため、必要な機能を導入していきます。</p> <p>また、地球温暖化対策への取り組みも重要であり、省エネルギー技術等、環境負荷低減に資する設備の導入を検討していきます。</p> <p>いずれにしましても、神戸市役所本庁舎2号館再整備基本計画の記載内容について、安全性、環境性、経済性も含め、様々な視点から検討を進めていきます。</p>

神戸市役所本庁舎2号館再整備基本計画（案）に関する市民意見と神戸市の考え方

意見 No.	意見本文	神戸市の考え方
4	<p>神戸市内で活動しておりますアマチュアオーケストラの運営に携わっているものです。主に「文化創造・発信機能の音楽ホールの整備」に関して、利用者の一人として意見を述べさせていただきます。</p> <p>クラシック音楽の生音の響きを活かせる音楽ホールとのこと、楽しみです。</p> <p>「再整備基本計画（案）」のp7には、「楽屋、リハーサル室、練習室などの機能についても導入を検討します。」とあります。まず、楽屋は必須だと思います。</p> <p>また、リハーサル室や練習室についてですが、今後、葺合文化センターや生田文化会館が、閉鎖されるとのことで、50～80人規模のオーケストラの練習会場がますます困難になると予想されます。是非、リハーサル室や練習場を併設いただき、一般の我々も利用できるようにしていただきたいと思います。</p> <p>また、できましたら楽器保管庫やレンタル楽器（ティンパニ、大太鼓、ベース）を備えていただければ、我々のような一般の音楽団体の活動も今後、活性化するのではと思います。</p>	<p>楽屋やリハーサル室等の創造支援機能について、各ホールの規模に応じて確保するよう、計画しています。また、リハーサル室は本番に向けた練習ができる仕様とし、あわせて市民の文化交流を目的とした発表会などにも使える小規模なイベントスペースとして利用されることも想定した仕様を検討しています。創造支援機能の具体的な規模、仕様等については、今後設計を進める中で検討していきます。</p> <p>本庁舎2号館跡に整備する音楽ホールは、雲井通5・6丁目地区に整備する大ホール・多目的の中ホールとあわせて、現在の文化ホールの利用を継承することを基本としていますが、「新たな価値を創り出す芸術文化創造拠点」となるために、積極的な事業及び活動を実践していくことも「新・神戸文化ホール整備基本計画（案）」の中で掲げています。</p> <p>運営についても、今後詳細な検討を行っていく中で、頂いたご意見を踏まえ検討していきます。</p>
5	<p>市役所2号館は、震災にも耐え、今日までその形を残し続けてきました。その象徴でもある建物がなくなるのは、神戸市民として正直寂しいです。</p> <p>ですが老朽化が進行しているのもまた事実であり、安心・安全を考えると建て替えは止む無しなのかなとも思っています。</p> <p>新しくできる建物は、市民や来訪者に向けて神戸らしい魅力を発信することで、多くの人に神戸を訪れてもらい、街が活性化できるような魅力あるものにしてほしいと思います。神戸の街は三宮駅周辺だけでなく、旧居留地や南京町、メリケンパークなど魅力的なスポットがたくさんあります。そういったスポットに多くの人が訪れ、にぎわいが生まれてほしいと願っています。</p> <p>また、再整備にかかる費用には、市民の税金も投入されることになると思いますので、費用のことについては適時適切に、市民にわかりやすく情報提供いただくようお願いいたします。</p>	<p>本庁舎2号館の立地は、三宮駅周辺と旧居留地やウォーターフロント等のエリアを往来するための結節点に位置していることから、新庁舎・にぎわい施設を中心として各エリアへの回遊性が向上し、にぎわいが生まれるよう、魅力ある施設の整備を進めていきます。</p> <p>また、再整備に伴い必要となる財政負担については、基本計画に掲載するほか、今後も適宜適切に市民の皆様に向けて公開していきたいと考えています。</p>
6	<p>率直に言います。</p> <p>市庁舎2号館を神戸の未来と希望が溢れる場所にして欲しい。</p> <p>建て替えのプランはすでに出来上がっていると思います。</p> <p>外資系ホテルを誘致するもよし、ホールを造るもよし、ただ中途半端はやめて欲しい。</p> <p>わたしを含め中高年層は30年も経たず、いずれ消えて行く。わたしはこの街の行く末を見届けることは出来ないうら。</p> <p>だがその時、神戸という都市は再び日本の主人公として世界に名を轟かせているような、それを体現するような新庁舎であって欲しい。</p> <p>そしてそれを目指して世界から人が集まる建築であり、百年語り継がれる場所であって欲しい。</p> <p>人間に必要なものは夢と希望である。若さとは自由であり奔放なことである。豪放で闊達であること。規制や法によって縛り付けるものではない。</p> <p>神戸人はこのことを忘れてしまっている。</p> <p>あなた方はこのことを新庁舎において体現して行くのだ。</p>	<p>新庁舎・にぎわい施設は、庁舎機能の他、音楽ホールやにぎわい機能などを備えた複合施設として再整備する予定です。再整備にあたっては、都心三宮の新たなランドマークとなるよう、市民をはじめ、多くの来訪者に親しまれるシンボリックな拠点施設として整備していきたいと考えています。</p>